事業名称	義務教育就学児医療費助成事業費〔義務教育就学児医療費助成事業〕				
担当部署・課長名	子育て支援	課	手当・助成	係	課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	6歳までの乳幼児医療助成制度のように、所得制限の撤廃・助成割合の拡大の要望がある。また、助成対象年齢の18歳までの拡大の要望もある。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	☐ 取り組んだ	取組手法：			
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
特になし					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) マニュアルを更新する必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事務フロー等の見直しを進め、マニュアルを更新した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) より効率的かつ適正に事務の執行ができるよう、システムの運用や事務フロー等の見直しを進める。				
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
	施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 適正な窓口受付、事務の執行				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし				